

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「木とともに大きくなろう！いくさかつ子」事業
事業主体 (連絡先)	生坂村役場教育委員会 0263-69-2087
事業区分	5 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	3 教育、文化の振興に関する事業
総事業費	1,117,670 円 (うち支援金： 855,000 円)

事業内容

- ・山間地に位置する生坂村は自然豊かではあるが、環境を生かした遊びや学びは危険が伴うため、保育園の園庭を活用し、自然について安心安全に学べる空間に整備することで、自然を利用した遊び・自然と共に生きること・環境保護や保全について地域の大人たちと一緒に考えていけるような学びの機会を作る
 - ・植樹、小屋づくり：R4年9月～11月実施
 - ・展覧会(写真展)：R4年11月～R5年2月実施
 - ・イルミネーション点灯式：R4年12月23日
- 参加者：保育園児26名他



【植樹の様子】

【目標・ねらい】

- ①自然を身近に感じる環境づくり(植樹・小屋づくり・空間づくり)
- ②環境保全に目を向け、自然について遊びを通して学ぶ(木育)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①園庭という安心安全な空間に、地域の方々とともに自然を感じることでできる環境を作ることで、新しい繋がり作りのきっかけとなった。また、新しい遊び場ができたことで外遊びの時間が増え、子どもたちが自ら考え遊ぶ力を身に付け、心や体の成長を大きく支える助長となった。来年度の園庭開放を12日から15日に増やすこととした。
- ②木々の成長を肌で感じ、木の日役割を紙芝居や作業から学ぶことで、資源の大切さを実感し、工作やお絵かきを通して園児の想像力や木や環境への興味を高めることができた。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・外遊びが週2時間増加したことで、自ら体験し五感を活用する時間が増え、心身共に成長を育むことができた
- ・地域との協働が地域活性化に繋がった

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・樹木の成長観察を継続し、成長過程での気づきや疑問を見つけることで感受性を育てていく
- ・新しい小屋を活用した催し物を実施

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある